

第4次磐田市多文化共生推進プラン(案)に対する意見募集について(結果)

- 1 募集期間 令和4年1月 27 日(木)～令和4年2月3日(木)
- 2 提出状況 2件(1 名)
- 3 意見内容とそれに対する市の考え方

No.	項目	意見内容	市の考え方
1	P,5 【3】 地区別人口	<p>以前と比べ、外国人市民が市内全域に分散している点に関して、「こんにちは」などの子どもの学習支援システムも全域に広げられたら素敵だと感じました。</p> <p>入国間もない子どもへの初期支援教室に関しても、自動車を持たない方も利用できるよう、竜洋、豊田、福田地区等に支部(オンラインでも可)を作ることができれば更に良いと感じました。</p>	<p>複数エリアで日本語学習を受けられる機会を設け、子ども教室やオンライン教室など、様々な受講ニーズに対応した学習支援に努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>P,3 外国人人口と外国人比率の推移</p> <p>P,7 公立小中学校の外国人児童生徒数の推移</p> <p>P,9 外国人と日本人の親しみの度合い</p>	<p>『外国人人口と外国人比率の推移(p3)』と『公立小中学校の外国人児童生徒数の推移(p7)』について、増減が対応していない点から、入国等以外に外国籍児童の出生率も増加しているのではないかと思います。</p> <p>磐田市を「故郷」と感じる子どもがいる中で、課題となり得る部分は、『外国人と日本人の親しみ度合い(p,9)』だと思います。日本以外を知らない子どもが、日本人と同じように親しみを持ってもらえるよう、互いを知る機会を増やしていければと思います。</p>	<p>本市には定住・永住外国人が多いため、出生数の増加が見込まれることから、外国人児童の出生数の推移についても、今後、データ分析するうえで参考にしていきます。</p> <p>また日本人と外国人が、お互いを知る機会を増やすことが必要だと認識しています。外国人市民を受け入れる日本人市民に対する意識啓発などにより、基本理念に掲げた「国籍・民族・文化の違いを認め合い 笑顔であいさつを交わすまち磐田」の実現に向け、プランに掲げた様々な施策の実施に努めてまいります。</p>